

Obihiro south commercial high school Volunteer club

☆令和3年度の主な活動内容☆

『JRC

オンライン語り部LIVE参加』
(12月16日)



日本赤十字社主催の防災・減災プロジェクトで語り部さんのお話を聞かせて頂きました。東日本大震災当時に語り部さんが体験した貴重なお話を聞くことができました。

お話を伺い、『命の危険を感じたときは、自分が信じたい情報を鵜呑みにするのではなく、目の前の事実としっかり向き合い冷静に判断することができるようにならなければいけない』と思いました。また周りの人に自分の言葉を信じてもらえるように、日頃から地域と関わり信頼関係を築くことがとても大切だと学びました。私たちも地域と関わるボランティア活動をもっと行いたいと思いました。

『高文連全道

ボランティア専門部研究大会』
(11月11日)



道内37校が参加する全道ボランティア研究大会に参加しました。

道内の他の高校との交流ができ、今まで取り組んだことのない事例や様々な取り組みを知ることができました。

また、講演ではフェアトレード・SDGsとボランティアの関係についてなど、私たちが知らない話が沢山あり、とても勉強になりました。講演の中の「人との出会い、小さな活動が未来を変える」という言葉がとても印象的でした。これからもボランティア活動を通して沢山のひとと出会い、やりがいをもって活動していきたいと決意を新たにしました。

『 落ち葉拾いボランティア』

(11月2日)



学校周辺の落ち葉拾いをお手伝いさせていただきました。

一枚一枚はとても軽いのですが、沢山の落ち葉を集めて袋に詰めると、とても重く持ち運ぶのが大変でした。このお仕事を毎回落ち葉が集まる度にするのは大変だなと思いました。通りすがりの生徒のみなさんに「ありがとうございます」と声をかけてもらえたのは嬉しかったです。今回、お手伝いをさせてもらい、このお仕事の大変さを感じ、あらためて公務補お二人に感謝しなくてはいけないなと思いました。

『 帯広市ボランティア連絡協議会

グリーンパーク清掃ボランティア』

(10月9日)



グリーンパークのごみ拾いを行いました。およそ1時間かけて、グリーンパーク内を歩き回りゴミを拾いました。

お菓子のごみ、たばこの吸い殻、ビニールテープが多く落ちていました。特に多かったのはベンチやステージの後ろ。人が移動する場所にごみが多い印象です。ポイ捨ては論外ですが、公共の場で飲食をする際はうっかり落としたりしないように気をつけたいと思いました。

これからも、今回の経験を生かして、ごみ拾い活動を続けていきたいです。

『 高文連十勝支部
ボランティア専門部研究大会』

(9月22日)



今年の高文連十勝支部研究大会では、現在行っている活動を発表しました。私たち一年生は、他校との交流は今回が初めてでした。リモートでの開催となりましたが、他校の様々な発表を聞くことで、新たに学べたことが沢山あり参考になりました。アドバイスなども頂くことができましたので、今後の活動に生かしていきたいです。

『シトラスリボンプロジェクト』
参加（8月24日～）



Citrus Ribbon Project
From Tokachiに参加しました。シトラスリボンとは新型コロナウイルス感染症の患者や医療従事者への差別や偏見の防止を目的とするプロジェクトの象徴です。始めは作るのに時間がかかりましたが、私たちも心を込めて作りさせて頂きました。私たちの思いがこのリボンを通して伝わることを願っています。

私たちも例年通りの活動はできていませんが、これからもこのような活動に積極的に参加していきたいと思っています。

『吹奏楽部お手伝い』
（8月11日）



吹奏楽部の定期演奏会の受付をお手伝いしました。チケットを確認しパンフレットを渡すという簡単な作業でしたが、気を抜かずに臨み、大きな声で挨拶ができました。1年生にとっては初めての校外での活動でしたが、問題なく終えることができました。

反省点は、お客さんに案内するときの声がかぶってしまった事。受付はスムーズに対応しなければいけないので、今後は、お互いの役割分担をしっかりと確認して取り組めるように頑張ります。

『手話講習会』その2
（5月11日～）



検定取得に向けて手話講習会を行っています。

講師の方に来ていただき、基本的な表現から日常会話で使える手話などを教えていただいています。それに加え、手話教育の経緯や、ろう者の方との関わり方なども教えていただけて、実際にお話を聞きながら勉強できる講習会は、とても貴重な機会だと思っています。次回以降も、皆と手話を楽しみながら身につけていきたいと思っています。

『手話勉強会』

(5月11日～)



昨年から取り組み始めた手話の勉強。今年はさらなるレベルアップを目指して、手話の勉強会を、すべての南商生・教職員を対象に拡大！さらに、帯広ろう者協会様のご協力の下、講師の先生にお越しいただいて12月までに12回の勉強会を計画しました。商業高校生として、「お店や窓口での簡単な接客の会話や、日付・時刻・金額など数字の入った表現ができる。」くらいの技能を身につけようと、日々、頑張っています！

『車椅子介助研修』

(4月27日)



毎年恒例の、新入生車椅子介助研修を行いました。実際に車椅子を体験しています。介助される側になると少しの振動でも怖く感じました。そのため、介助者が「段差があります。」や「スピードは怖くないですか。」などとこまめに声をかけることにより、介助を受けている側も安心出来ると言うことを学びました。私も相手の気持ちをよく考え、周りが見える人にならなければならぬと感じました。

『新入部員』

(4月20日)



今年は、新入部員が2名入部しました。新入部員からのコメントです。

『ウイルスの影響でできる活動は限られていると思いますが、ボランティア部の活動を通して人との接し方を学び、自らの積極性も身につけていきたいと思っています。』

『ボランティア部では積極的にイベントなどに参加し、コミュニケーション能力を高め、周りの方達への気遣いができるようになりたいです。また、手話や点字を学び、幅広くコミュニケーションが取れるようになりたいです。』

『 日常の活動 』



ボランティア部は、毎週火・木曜日が活動日です。週末に参加するイベントお手伝いの打ち合わせを中心に、点字の練習、手話の講習会、車いすの介助練習、校舎周辺のごみ拾いなどの活動をしています。検定や定期考査が近くなると、部室で勉強することもあります。先輩が、優しく（時に厳しく！）教えてくれます。

